

# 豊かな創造力

## 現代工芸美術家協会福井会



現代工芸美術家協会福井会  
司辻光男委員長

### 時代に合うスタイル追究

作家は作品発表の場があつてこそ創作意欲がわきます。コロナ禍で展覧会が中止を余儀なくされたため、紙面上の写真を通して披露することになりました。現代工芸の魅力は表現の多様性や独創性にあると考えます。立体作品もあれば、壁面に展示する平面作品もあります。素材もさまざま。陶芸もあれば漆や七宝、藤工芸などもあります。紙面を通して多彩な造形美の一端に触れてく

ださい。現代工芸美術家協会福井会は1981年、石川会から独立する形で誕生しました。独立へ道筋をつけた運田修吾郎先生や笠原行雄先生(いずれも故人)ら福井ゆかりの造形作家をはじめ、初代委員長として福井会の多くの個性を束ねた竹内英輔先生(故人)、竹内先生からバトンを受けた田村民男先生…。諸先輩の力なくして今はありません。現在の福井会は、芸術一筋の作家や職人の顔を併せ持つ作家だけでなく、趣味の域から技術を磨いて芸術性を高めた女性作家も増えました。発足当初とは顔ぶれこそ変わ

りましたが、作品の善しあしを会員同士で自由に気兼ねなく議論して新しい作風を目指すところは、気さくな人柄で会を束ねた竹内先生や田村先生の創作姿勢が今も息づいています。ただでさえ「展覧会離れ」が叫ばれる中、コロナ禍で開催自体が危ぶまれたり、開催できても鑑賞を控える動きが出るかもしれません。困難にどう対応し、作品発表の場をどのように確保するか。今だからこそ、自由な発想を多彩な素材にぶつけ、時代に合った新しいスタイルを追究する福井会の原点に立ち返りたいと考えています。



陶  
「永(いつまでも)」  
司辻光男(越前町)  
江戸時代の古越前の壺にも文字が入ったものがあります。近年、造形作品に文字を入れていきます。今回は「いつまでも」という思いを込めて「永」を一字入れました。  
2005、10、14年 日展審査員  
16年 現代工芸美術家協会理事  
17年 日展特別会員  
18年 黄綬褒章、福井新聞文化賞



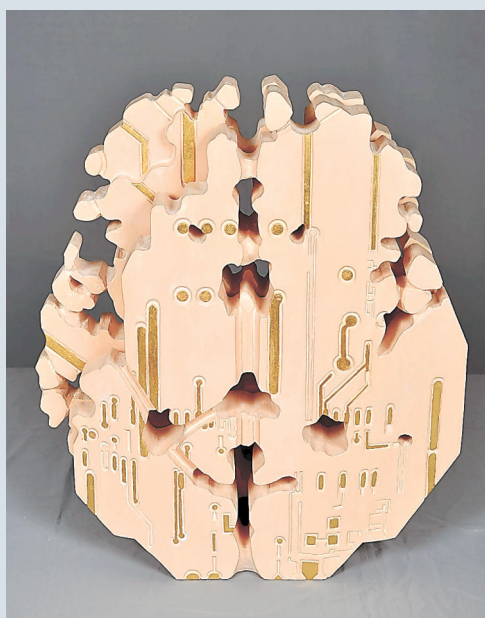
陶  
「想刻」  
中村厚子(勝山市)  
長い年月の間に風雨に晒され時を刻んだ建物、その中を射るように通る風。過ぎ去った刻に想いを馳せて制作してみました。  
2013年 現代工芸美術家協会本会員  
18年 日本現代工芸美術展審査員  
20年 日展会友



陶  
「そよ風に抱かれて」  
大谷桂子(越前市)  
昨今のギスギスした心を、そよ風に誘われた羽衣が優しく包み込むとする様子を表現しました。  
2015年 現代工芸美術家協会本会員  
20年 日展会友



漆  
「環」  
森田清照(鯖江市)  
榮螺貝、ムール貝をモチーフに創作。榮螺貝の相似形の断面が螺旋を描いて移動し立体になる面白さを表現した。  
2009年 現代工芸美術家協会評議員  
15年 日展審査員  
16年 日展会員  
18年 県文化賞



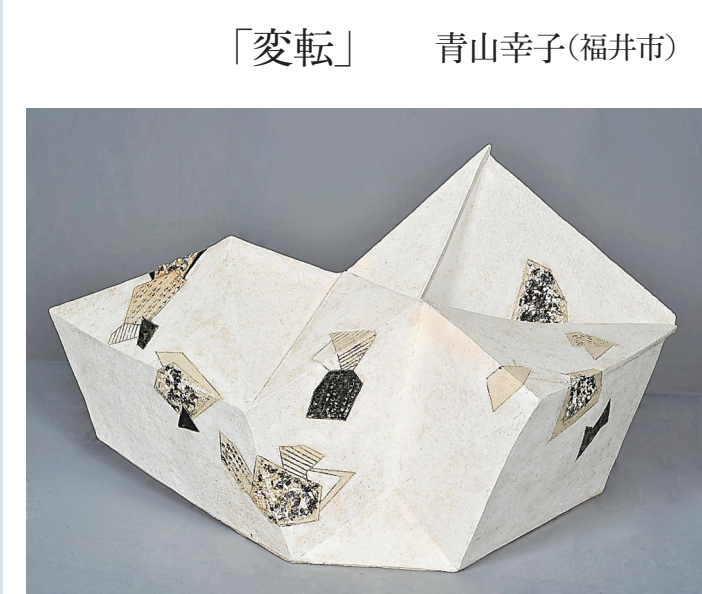
木  
「新世界」  
鈴木良一(鯖江市)  
人工知能の登場により新しい世界が始まろうとしています。人の生き方が根底から変わるような予感がします。  
2007年 現代工芸美術家協会本会員  
17年 日展会友  
19年 日本現代工芸美術展審査員



陶  
「木漏れ日」  
杉井とみの(越前市)  
葉や枝の間から光が漏れ、風がなくても静かなあたたかい日の光は心を和ませてくれます。その光を作品に取り入れて象徴で表現しました。  
2012年 日展初入選  
20年 現代工芸美術家協会本会員



陶  
「海底の華」  
三田村利美(南越前町)  
海底で波に揺られて華やかに成長する海草。穏やかに根強くなれと人生を重ねつつ制作しました。  
2003年 日展初入選  
12年 現代工芸美術家協会本会員



陶  
「変転」  
青山幸子(福井市)  
異なる形と大きさの面の連続でできる形状の美しさを文様と共に表現しました。  
2017年 日本現代工芸美術展初入選  
18年 日展初入選



陶  
「溫和」  
木下智栄(福井市)  
世の中がどんな状態になっても、大変な時でも、そうだからこそ温かく、おだやかな心を持っていきたい。そんな思いを表現してみました。  
2014年 県美展初入選  
17年 日本現代工芸美術展初入選



陶  
「渚の Rond」  
辻広子(越前市)  
貝をモチーフにして、曲線と空間を使ってゆっくりと流れる時間の輪舞を表現しました。  
2015年 日本現代工芸美術展初入選  
17年 県美展県教委賞



ガラス  
「秋涼」  
原野美枝(敦賀市)  
京の秋の夕暮れ時の遠山と五重塔を想いながら表現しました。  
2010年 敦賀市美展30回記念賞  
19年 県美展県文化協議会賞



陶  
「地の力 -cliff-」  
寒蟬久美江(越前市)  
地球のエネルギーにより浸食が繰り返される一過程。海岸の切り立つ崖を表しました。  
2012年 日本現代工芸美術展初入選  
14年 県美展初入賞